

あつぎ

なつかしの街角写真展

本厚木駅周辺の移り変わりを振り返る写真展です。

期間 2月1日～17日

場所 本厚木ミロード

企画政策課 ☎225-2450

編集・発行 / 厚木市政策部広報課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951

平成27(2015)年2月1日発行
広報あつぎ 第1200号

ネットは

www.city.atsugi.kanagawa.jp



昭和30年に誕生した厚木市は、2月1日に60周年を迎えました。カウントダウンボードに手に並ぶたくさんの笑顔。厚木にゆかりのある多くの人々が、市の大きな節目に花を添えてくださいました。

市の歴史には、多くの出来事が刻まれ、活気あふれるまちへと発展してきました。その背景にはいつも、厚木を思う人の姿がありました。

市制60周年は、新たなスタート地点です。これまでの歩みを止めることなく、未来のさらなる発展に向けて進んでいきましょう。

企画政策課 ☎225-2450



全ての写真とお祝いのコメントを掲載中



数字で見る あつぎ今昔

56.5km ² (昭和30年2月1日)	面積	93.83km ² (平成26年2月1日)
3万1295人 (昭和30年2月1日)	人口	22万5133人 (平成27年1月1日)
8127世帯 (昭和30年10月1日)	世帯	9万6396世帯 (平成27年1月1日)
2.8人 (昭和32年1月～8月)	出生1日平均	4.73人 (平成26年1月～8月)
1.6組 (昭和32年1月～8月)	婚姻1日平均	3.11組 (平成26年1月～8月)
9870人 (昭和31年)	本厚木駅乗降者数1日平均	14万7004人 (平成25年度)
1億6023万円 (昭和30年度)	歳入決算額	763億3859万円 (平成25年度)

昭和52年10月

本厚木駅北口リニューアル

厚木市の玄関口に当たる本厚木駅北口広場が、装いも新たに生まれ変わりました。樹木や噴水に加え、シンボルとして「若き心」と題したブロンズ像が設置されました。

平成22年には、交番が北口広場に設置され、より安心安全で快適な厚木の玄関口として多くの人を出迎えています。



昭和40年代後半の北口広場



昭和52年10月1日号

「五輪はアスリートにとって最高の舞台」 榎本久夫さん(70・愛甲)

東京五輪で、柔道の競技前に模範演技を披露しました。世界各国から集まった大観衆を前に、五輪の偉大さを実感してとても緊張したことを覚えています。

現在、体育協会の役員として市のスポーツ振興に関わっています。目標に向かって一生懸命努力する子どもたちの姿は、とても頼もしいです。厚木の地で力を受けたアスリートたちが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの舞台で活躍することを楽しみにしています。



昭和39年10月

昭和39年10月 東京五輪開催

世界最大のスポーツの祭典である五輪が東京で開催されました。市内からは、五輪の聖火リレーに厚木高校陸上部の生徒が市代表として参加。国内での五輪開催は、人々のスポーツへの関心を高めました。



昭和39年11月10日号

昭和31年2月

市政だより(広報あつぎ) 第1号発行

市の取り組みやまちの問題を届けている「広報あつぎ」は、市が誕生した翌年に「厚木市政だより」として創刊されました。昭和32年に現在のタブロイド判に変更。昭和46年から毎月2回発行し、現在に至ります。



昭和31年2月15日号

市制60周年&広報あつぎ第1200号発行記念

広報あつぎで振り返る60年

私たちが暮らす厚木市の成り立ちや歴史を知っていますか。「広報あつぎ」は創刊以来、市の取り組みやまちの問題を、分かりやすく、丁寧に市民の皆さんに届けてきました。1200号の節目に、あらためて市の60年の足跡をたどりましょう。

☎広報課 ☎225-2040

昭和41年6月

もぐり橋が完成

もぐり橋は、30年にわたり厚木市と海老名市を結んでいた相模小橋の通称です。通称は、増水すると水中にもぐり、通行できなくなることに由来しています。大きな台風で流されてしまうこともあり、両市が交替で整備費用を負担していました。自動車の転落事故が起きるなどの理由から、平成8年にあゆみ橋に架け替えられました。



昭和60年2月

厚木シティプラザ全館オープン

本厚木駅東口の厚木シティプラザが、中央図書館、ヤングコミュニティセンター、子ども科学館が入った複合施設としてオープン。教育や文化の拠点として、幅広い年代に利用されてきました。

平成21年7月には、500万個の星を投影できる「コスモシアター」も完成し、さらに充実した施設になりました。

平成21年6月1日号



昭和60年1月15日号

昭和62年6月

七沢自然教室オープン

自然あふれる環境の中で寝食を共にし、心豊かな人づくりを目指す施設としてオープンしました。市内の小中学生などが野外炊事や自然観察、天体観測、工芸品作りなどを楽しみながら学習しています。

名称は、平成17年に現在の「七沢自然ふれあいセンター」になりました。



昭和62年6月15日号

昭和58年5月

米国・ニューブリテン市と友好都市を締結

自治体や市民間での交流により世界平和と文化の向上につなげるため、国内外を通じて初めて友好都市を締結しました。

その後、59年に中国・揚州市、60年に秋田県横手市、平成17年に韓国・軍浦市、北海道網走市とも締結。文化、教育、スポーツなどの幅広い分野で交流を続けています。



昭和58年7月1日号

昭和39年11月10日号

昭和39年11月10日号

43年

41年

45年

47年

47年

49年

51年

48年

50年

49年

51年

50年

52年

51年

53年

52年

54年

53年

55年

54年

56年

55年

57年

56年

58年

57年

59年

58年

60年

50年

52年

51年

53年

52年

54年

53年

55年

54年

56年

55年

57年

56年

58年

57年

59年

58年

60年

59年

61年

60年

62年

61年

63年

62年

64年

63年

65年

64年

66年

65年

67年

66年

68年

67年

69年

68年

70年

69年

71年

70年

72年

71年

73年

72年

74年

73年

75年

74年

76年

75年

77年

76年

78年

77年

79年

78年

80年

昭和60年4月

厚木サンパークオープン

昭和60年4月に厚木バスセンターの上にオープンしました。美しい絵タイルが張られた広場やベンチがあり、図書館を訪れた人やショッピングを楽しむ人の憩いの場になっています。

国民的な音楽グループ「いきものがかり」も、デビューした平成18年にライブを開催しています。

昭和60年4月15日号



昭和60年4月15日号

昭和53年11月

文化会館オープン

市制20周年を記念し、市の文化芸術の拠点として整備されました。落成を記念し、相模人形芝居をはじめとした郷土芸能の公演や三波春夫歌謡ショーなどが開催されました。

「人形芝居は地域の誇り」 相模人形芝居長谷座顧問・山口朋彦さん(81・長谷)

江戸時代に伝わった相模人形芝居は、庶民の娯楽として親しまれてきた伝統芸能です。文化会館が完成したころは、国による重要無形民俗文化財の指定を受けた時期(昭和55年)と重なり、多くの公演をこなしていました。

文化会館の舞台は広く、地域の集会所や祭りの舞台とは勝手が違い、戸惑ったことを覚えています。小ホールができた時に相模人形芝居を上演するための舞台構造ができたことも、この芸能の重要性を表すものだと思います。先人から受け継いだ郷土の誇りを、地域の皆さんに支えていただきながら永く残していきたいです。



昭和53年11月1日号

昭和51年8月

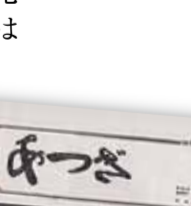
第30回あつぎ鮎まつり

鮎まつりは、終戦間もない昭和20年代に始まりました。花火大会は、疲弊した市民の心に、夢や希望を与えました。昨年は市制60周年を記念し、全長500mにも及ぶ大ナイアガラ(下写真)も披露されるなど、今も多くの人の心を引き付けています。

「思い出に残る花火を作りたい」和田吉二さん(75・瀬沢)

鮎まつりには、花火の製造、打ち上げの企画・演出などで開始時から関わってきました。初めは数百発程度だった花火大会は、人気の上昇とともに年々規模が拡大し、今では約1万発を打ち上げる大花火大会へと成長しました。

花火師として大切にしているのは「観客の視点に立った花火づくり」です。時代の移り変わりに伴って、観客が花火に求めるものも変化しています。楽しみに来てくださる皆さんの良い思い出となるよう、最高の花火大会を追求していきます。



昭和51年8月1日号



昭和51年8月1日号

「朝市は直売の先駆け」 遠藤好男さん(84・小野)

市民朝市には、1回目から出店しています。当時、市内に直売所などはなく、野菜は全て市場に出荷していました。朝市をきっかけに、育てた野菜に自分で値段を付け、直接お客さんに売る楽しさを知ることができました。今では自分でも直売所を設け、育てた野菜は全て直売です。

農業や朝市は厚木の魅力の一つです。これからも、皆さんにおいしい地場産の野菜を届けるために、毎日勉強、毎年1年生の気持ちで農業に取り組んでいます。



厚木市が誕生するまで

「あつぎ」の地名が資料に登場するのは、1338年。地名の由来は、木材の集積地だったことから「アツメギ」が変化した説や、アイヌ語の「ヤオロケシ(寄木)」から名付けられた説がありますが、定説にはなっていません。江戸時代には、相模川船運の中継地や大山への街道の宿場町、商人町として繁栄しました。



幕末頃の厚木の街並み



幕末から明治初期の飯山

記念誌と番組制作

市ホームページでも公開

厚木市の60年の歩みを写真や映像で紹介します。記念誌「NEXT STAGE 明日へのかけ橋」

【閲覧場所】 市政情報コーナー(兼販売)、中央図書館、公民館など



平成26年4月1日号

平成26年4月

アミューあつぎオープン 中心市街地のにぎわい創出を目指し、商業施設と公共施設の複合施設としてオープン。

光り輝く未来へ向けて



厚木市長 小林常良

多くの先人の皆さまが情熱を込めて育ててきた厚木市が、60周年を迎えました。豊かな自然や歴史、文化、そして人々の愛情があるまちへと発展を遂げてきた厚木市。

あつぎ市民ふれあい都市宣言

厚木市は、先人のたゆまぬ努力により、自然と調和する都市として発展してきました。そして今、少子高齢化の進展や価値観の多様化により、人と人との関係が変化し、市民相互の絆がより大切になっています。

ふれあいの家庭づくり 家族との絆を深め、人を思いやる豊かな心を育み、ぬくもりのある「心ふれあう家庭」をつくりましょう。

企画政策課 ☎225-2590

平成23年3月

東日本大震災が発生

3月11日の震災発生後、市では消防隊員や職員の派遣、基金を活用した物資支援など被災地の要望に合わせた支援を実施しました。



平成23年4月15日号

平成22年12月

あゆコロちゃん誕生



あゆコロちゃんは、市の魅力をPRするマスコットキャラクターとして誕生しました。851点の応募から選ばれたデザインを考案したのは平井遥さん。

「ずっと愛されるキャラクターに」平井遥さん(27・林)

生まれ育った特別なまちだからこそ自分が手掛けたいと思い、厚木の魅力が一目で伝わるようにモチーフ満載でデザインしました。



平成23年1月1日号

平成22年11月

セーフコミュニティ(SC)の認証を取得

安心安全なまちづくりに市民協働で取り組み、WHO(世界保健機関)が推奨するSCの認証を国内3番目に取得しました。



平成22年12月15日号

平成10年10月

かながわ・ゆめ国体開催

県内の全市町村で競技が開催されました。厚木市ではソフトテニス、ソフトボール、弓道を実施。

「盛り上がった国体」大木緑さん(54・相模原市)

弓道競技は、荻野運動公園に特設弓道場が造られ実施されました。出場できる3選手の一人に選考されたのは、妻田東児童館で指導員をしていた時のことです。



平成10年10月1日号



平成5年4月

広報あつぎ「自然歳時記」連載スタート

学芸員の吉田文雄さんが、身近に息づく動植物の営みを記す連載コーナーです。平成5年に始まり、現在は毎月15日発行号に掲載。



平成18年10月1日号

「自然と共生するまちに」吉田文雄さん(71・飯山)

雄大な大山がそびえる東丹沢から広がる豊かな山林と、相模川などの水辺には多様な動植物があふれ、生命の豊かさを感じさせてくれます。

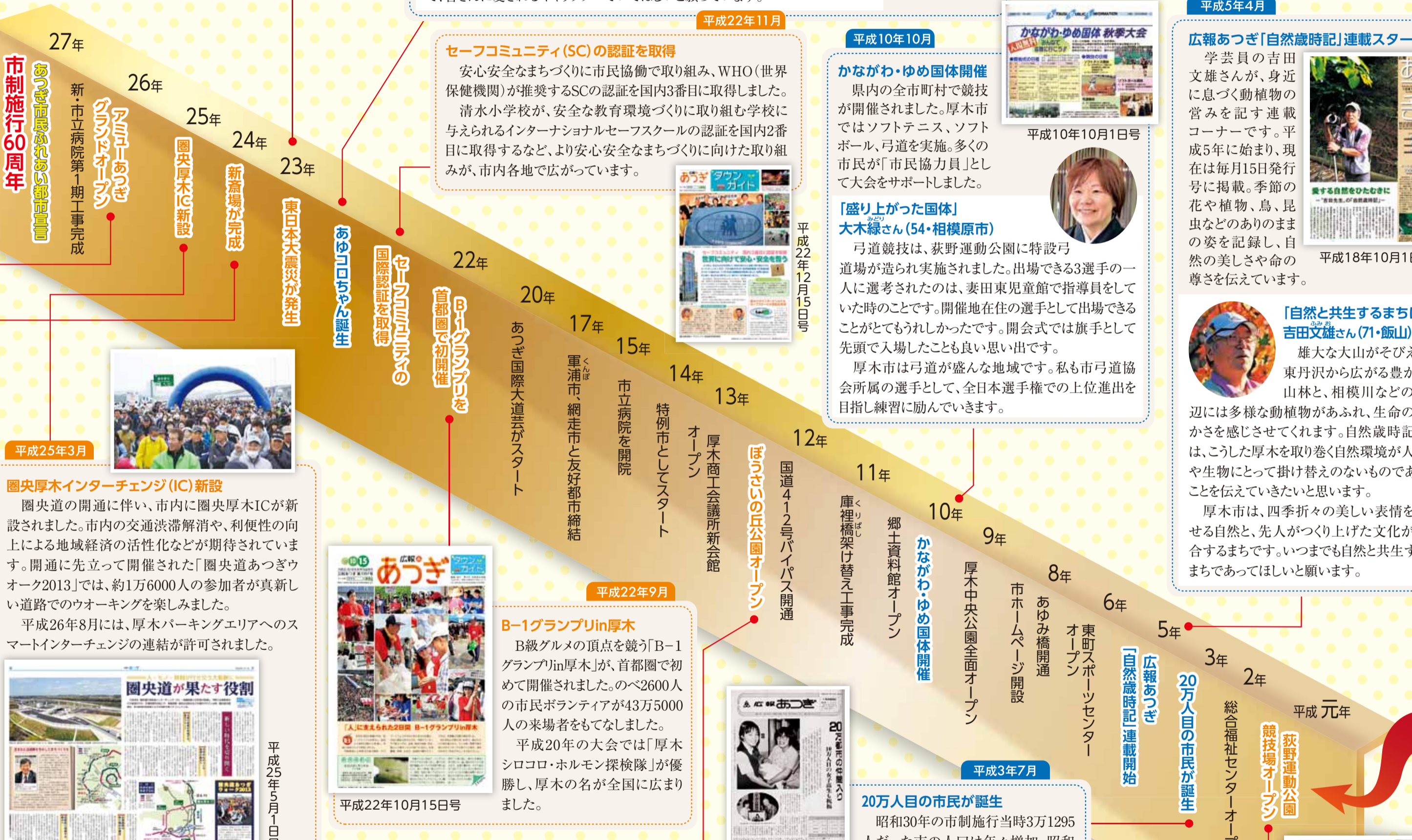


あつぎ国際大道芸がスタート

厚木商工会議所新会館

あつぎ市民ふれあい都市宣言

あつぎ市民ふれあい都市宣言



平成25年3月

圏央厚木インターチェンジ(IC)新設

圏央道の開通に伴い、市内に圏央厚木ICが新設されました。市内の交通渋滞解消や、利便性の向上による地域経済の活性化などが期待されています。



平成25年5月1日号



平成24年4月

新斎場オープン

下古沢に最新の設備を備えオープン。1日最大16件の受け入れが可能な火葬炉6基と、通夜・告別式ができる二つの葬儀式場を併設し通夜、告別式から火葬までの一連の儀式を執り行えます。



平成24年3月1日号

平成12年4月

ぼうさいの丘公園オープン

備蓄倉庫などを備え、災害時には広域避難場所となる公園として整備されました。自然散策路や子ども向けの遊具もあり、普段は多くの親子連れなどににぎわっています。



平成12年4月15日号

平成22年9月

B-1グランプリin厚木

B級グルメの頂点を競う「B-1グランプリin厚木」が、首都圏で初めて開催されました。のべ2600人の市民ボランティアが43万5000人の来場者をもてなしました。



平成22年10月15日号

軍浦市 網走市と友好都市締結

平成22年9月

B-1グランプリin厚木

B級グルメの頂点を競う「B-1グランプリin厚木」が、首都圏で初めて開催されました。

平成12年4月

ぼうさいの丘公園オープン

備蓄倉庫などを備え、災害時には広域避難場所となる公園として整備されました。

平成12年4月15日号

国道412号バイパス開通

20万人目の市民が誕生

「厚木を魅力あるまちに」片倉剛史さん(23・下依知)

誕生した私が偶然にも20万人目の市民になったことに、家族みんな喜んで母親から聞きました。

あゆみ橋開通

20万人目の市民が誕生

「厚木を魅力あるまちに」片倉剛史さん(23・下依知)

誕生した私が偶然にも20万人目の市民になったことに、家族みんな喜んで母親から聞きました。



平成3年7月15日号

市ホームページ開設

20万人目の市民が誕生

「厚木を魅力あるまちに」片倉剛史さん(23・下依知)

誕生した私が偶然にも20万人目の市民になったことに、家族みんな喜んで母親から聞きました。

平成3年7月15日号

あゆみ橋開通

20万人目の市民が誕生

「厚木を魅力あるまちに」片倉剛史さん(23・下依知)

誕生した私が偶然にも20万人目の市民になったことに、家族みんな喜んで母親から聞きました。

平成3年7月15日号

東町スポーツセンターオープン

20万人目の市民が誕生

「厚木を魅力あるまちに」片倉剛史さん(23・下依知)

誕生した私が偶然にも20万人目の市民になったことに、家族みんな喜んで母親から聞きました。

平成3年7月15日号

あゆみ橋開通

20万人目の市民が誕生

「厚木を魅力あるまちに」片倉剛史さん(23・下依知)

誕生した私が偶然にも20万人目の市民になったことに、家族みんな喜んで母親から聞きました。

平成3年7月15日号

あゆみ橋開通

20万人目の市民が誕生

「厚木を魅力あるまちに」片倉剛史さん(23・下依知)

誕生した私が偶然にも20万人目の市民になったことに、家族みんな喜んで母親から聞きました。

平成3年7月15日号

平成元年10月15日号

小学校給食配膳員（臨時職員）登録者を募集

《勤務場所》玉川・相川・戸室・愛甲・森の里・戸田小学校《賃金》時給900円《勤務時間》10時～15時（4時間）《採用時期》欠員が生じ次第。履歴書に必要事項を書き、直接または郵送で〒243-0034船子602-7南部学校給食センター ☎225-2652へ。

北部学校給食センター給食調理補助員（臨時職員）を募集

《対象》市内在住で18歳以上の方若干名《内容》中学校給食の調理補助や食器類の洗浄《勤務場所》北部学校給食センター（三田172）《勤務時間》①8時30分～15時15分②13時～17時15分《期間》4月初旬～7月下旬の平日（更新あり）《賃金》時給980円。市販の履歴書に必要事項と希望勤務時間を書き、写真を貼って、2月12日（必着）までに直接または郵送で〒243-0211三田172北部学校給食センター ☎225-2653へ。2月18日に面接を実施。

市立病院「春のインターンシップ」を募集

《実施日》3月20・24日、9時～15時《対象》看護学生各日10人程度《体験内容》生活援助、治療処置介助などの見学、体験。申込書（市立病院ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、郵送またはファクスで2月20日（必着）までに、〒243-8588経営管理課 ☎221-1570・FAX222-7836へ。抽選。

ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや保育施設への送迎などができる方。公民館にある入会申込書に写真2枚を添えて、3月4日までに直接、ファミリー・サポート・センター（あつぎ市民交流プラザ8階 ☎225-2933）へ《講習会》3月11・12日（全2回）、10時15分～17時。あつぎ市民交流プラザ。託児あり（1歳以上5人。2月24日までに要予約。先着順）。育児援助（有料）を希望する依頼

会員も随時募集。公募 ☎340010

市民ふれあいマーケット出店者募集

《日時》3月8日、10時～14時（雨天の場合は15日）《会場》厚木中央公園《内容》家庭で不用になった物の販売《対象》市内在住の方130店舗（高校生以下は不可）《出店料》500円。往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡が取れる電話番号、販売品目、返信先、自動車の使用の有無（車種とナンバー）を書き、2月13日（消印有効）までに〒243-8511環境政策課 ☎225-2749へ。抽選。 ☎141014

斎場敷地内看板の広告主を募集

《募集期間》2月1日～28日《掲載開始》5月1日《募集枠》7枠《価格》1万5000円～（価格競争）。☎斎場 ☎281-8595。

不登校相談会

2月7日、13時～16時30分。小田原市生涯学習センターけやき（小田原市）。不登校で悩む児童・生徒や保護者が対象の相談会、不登校経験者による座談会、フリースクール活動紹介など。無料。当日直接会場へ。☎県子ども教育支援課 ☎045-210-8292。 ☎241010

あつぎ地区看護職合同就職相談会

3月1日、10時～16時。あつぎ市民交流プラザ。厚木地区の13病院が一堂に会する就職相談会（キッズスペースあり）。看護職を目指す方、子育てや休職中で職場復帰を考えている方。当日直接会場へ（Eメールに相談会名、氏名、電話番号を書き、2月27日17時までに送信した方には、当日粗品を進呈）。☎厚木地区看護部長会・中村 ☎228-8458・e-mail=m-nakamura@tomei.or.jp。

マルチメディアデジ図書を貸し出し

音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書「マルチメディアデジ」の絵本や児童書の貸し出しを始めます《対象》市内在住在学で、身体障害者手帳ま

あつぎ 元気Wave 2月の広報番組 **ガイド**

ケーブルテレビ
あゆチャンネル(11ch)
放送時間(15分)

2月1日～15日 ◆市制60周年記念番組
厚木市が歩んだ60年をあゆコロちゃんと振り返ります。

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

たは療育手帳をお持ちの方。☎中央図書館 ☎223-0033。

老人福祉センター寿荘などが移転

老人福祉センター寿荘と総合福祉センターの高齢者関連室が移転します。現在の施設は3月15日まで利用できます。利用には、団体登録が必要です《移転先》シティプラザ5・6階《移転日》4月1日《団体登録》市内在住の60歳以上の方で構成された団体《抽選会》4月分は2月9日、寿荘2階大広間で実施《利用料》無料。☎高齢福祉課 ☎225-2224。

市有地を売却します

《売却物件》①飯山4233番1②戸田337番3ほか1筆③恩名4丁目1350番3ほか1筆。☎2月9日～18日に財産管理課 ☎225-2089へ。

本厚木駅連絡所臨時休業

2月18・19日は電気設備点検のため、証明発行・連絡所業務は休業します。連絡所内の観光案内所も休業します。☎市民課 ☎225-2110。

国民年金保険料は口座振替で

国民年金保険料の納付は、納め忘れがない口座振替が便利です。現金納付より割引額が大きい「早割制度」「6カ月・1年・2年前納」もあります。☎納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持ち、直接金融機関または厚木年金事務所（栄町1-10-3）へ。4月分以降の前納は、2月末日までにお申し込みください。☎厚木年金事務所 ☎223-7171。

雨水を公共下水道管(污水管)に流さないで

雨水を公共下水道管に流すと、污水が道路上にあふれるなど浸水被害の原因になります。絶対に流さ

ないでください。公共下水道管に雨水を接続している方は、切り離して宅地内での処理に切り替えてください。なお、市内には雨水と污水が流せる合流区域や、雨水管が埋設されている分流区域もあります。詳しくはお問い合わせください。☎下水道総務課 ☎225-2362。

改正土砂災害防止法に基づく基礎調査結果の公表

「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」の基礎調査結果を県・市ホームページで公表しています。厚木土木事務所、市役所、公民館でも閲覧できます。☎危機管理課 ☎225-2190。



《パブリックコメント》

■(仮称)里地里山保全等促進計画

《閲覧期間》2月7日～3月9日《閲覧場所》環境政策課、市政情報コーナー、あつぎ市民交流プラザ、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、市ホームページ《応募資格》市内在住在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511環境政策課 ☎225-2746・FAX223-1668・e-mail=3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

市の表彰

1月15日号で紹介した方と合わせて表彰されました（敬称略）。《スポーツ表彰》テニス▶飛鳥井光治、山下昭男。☎秘書課 ☎225-2001。

あつぎ健康相談ダイヤル24
☎0120-31-4156

厚木の春を彩ろう

あつぎ飯山桜まつりダンスコンテスト

桜に囲まれたステージで、自慢のダンスを披露しませんか。

参加者募集

日時 3月29日 ①11時～ジュニア(中学生以下)の部 ②14時30分～一般の部

会場 飯山白山森林公園・桜の広場ステージ

対象 各部2～30人程度のグループ20組 (小学生以下の参加には引率者が必要)

内容 ヒップホップ、チア・フラダンス、よさこいなど

賞 各部門の上位チームに景品を進呈

演技時間 1組5分以内 **参加費** 1組1000円

事前説明会 3月5日 19時～

☎電話またはファクス、Eメールに部門、チーム名、人数、代表者(引率者)の氏名、年齢、〒住所、電話番号、Eメールアドレス、ダンスの内容を書き、2月20日(必着)までに〒243-8511観光振興課 ☎225-2820・FAX223-0174・e-mail=3850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。 ☎130682

華やかなステージでパフォーマンス

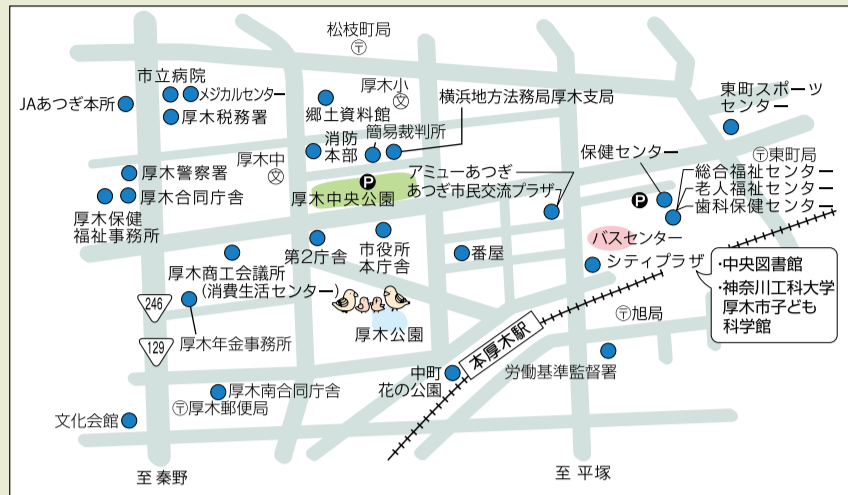
自分で野菜を育てよう

市民農園の利用者を募集

《対象》①依知ファミリー農園3区画②下川入ファミリー農園5区画③山際A農園5区画④三田B農園2区画⑤三田C農園5区画⑥小野D農園9区画⑦飯山H農園2区画《利用期間》4月～平成29年2月末《面積》①②30平方メートル③～⑥16.5平方メートル⑦33・66平方メートル《対象》市内在住在勤在学の方（1世帯1人まで）《費用》1カ月①②550円③～⑥350円⑦600・1200円☎〒住所、氏名、電話番号、希望する農園・面積を書き、2月20日（必着）までにハガキ、ファクスで〒243-8511農業政策課 ☎225-2800・FAX223-0174へ。抽選。

家族で野菜作りを楽しめる

タウンガイド



2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
							29	30	31				

マイタウンクラブ

印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「印」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。
www.mytownclub.com
[携帯電話は末尾に/cpを]

合格者に認定証を交付)。15歳以上の方24人。900円。☎141622

いずれも会場は総合福祉センター。申し込みは、往復ハガキに講習会名、〒住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、市外の方は勤務先または学校名を書き、2月13日(必着)までに〒243-8511福祉総務課☎225-2200へ。抽選(市内在住在勤在学の方を優先)。

スポーツメンタルトレーニング講演会

2月28日、14時～15時30分。荻野運動公園(中荻野1500)。「プロアスリートが実践するメンタルトレーニング」がテーマの講演。市内在住在勤在学の中学生以上の方70人。無料。☎ハガキ、ファクス、Eメールに講座名、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書き、2月15日(必着)までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎247-7212・☎248-7151・e-mail=info@atsugi-taikyo.or.jpへ。抽選。☎141654

あつぎスポーツアカデミー「キッズ★コーディネーショントレーニング」

3月15日、10時30分～11時30分。あつぎ市民交流プラザ。運動神経を高めるトレーニング。3～6歳の未就学児20人。無料。☎ハガキ、ファクス、Eメールに講座名、〒住所、保護者氏名、参加者氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書き、2月15日(必着)までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎247-7212・☎248-7151・e-mail=info@atsugi-taikyo.or.jpへ。抽選。

オストメイト社会適応訓練活動の相談会健康教室

2月15日、13時30分～16時30分。イオンモール大和(大和市)。皮膚・排泄ケア認定看護師の講演、グループ懇談、個別相談など。人工肛門・ぼうこう保有者と家族など。無料。☎日本オストミー協会神奈川支部☎0466-45-4216。

子育てアドバイザー講習会

3月11・12日(全2回)、10時15分～17時。あつぎ市民交流プラザ。

市内在住で地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり(1歳以上5人。要予約。先着順)。別に保育所実習(半日)が必要。全課程修了者に認定証を交付。☎2月24日までに子育て支援センター☎225-2922へ。抽選。☎141655

アンチエイジングヨガ

3月4日、19時～21時。あつぎ市民交流プラザ。若さを保つためのヨガ講座。市内在住在勤在学で18歳以上の方30人。1900円。☎ハガキ、ファクスに講座名、〒住所、氏名(フリガナ)、年齢、電話・ファクス番号を書き、2月8日(必着)までに〒243-0018中町3-16-1勤労者福祉サービスセンター☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。☎600230

ラテアート教室

3月7日、13時～15時。サンフェイス(中町1-8-4)。エスプレッソコーヒーと泡立てたミルクでカフェラテに絵を描く。市内在住在勤在学の方10人。3200円。筆記用具をお持ちください。☎直接、電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、2月13日までに勤労者福祉サービスセンター☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。

終活セミナー～老後を豊かに過ごすために～

3月7日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。人生の終わりをより良く迎えるために、相続や遺言などを学ぶ。市内在住在勤の方20人。無料。☎電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、2月13日までに勤労者福祉サービスセンター☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。

ターゲット・バードゴルフ教室

2月14日(雨天時は15日)、13時～16時。及川球技場(及川1-17-1)。ターゲット・バードゴルフの体験(用具の貸し出し可)。市内在住在勤の方。無料。☎当日直接会場へ。☎市ターゲット・バードゴルフ協会・小島☎228-0300。

2月の青春劇場スケジュール

7日=唄う!青春劇場カラオケ大会(ゲスト・椿はるな)。15時～16時。定員100人。入場料500円。
28日=あつぎ青春劇場落語会(出演・古今亭志ん八)。11時～12時30分。定員100人。入場料500円。
いずれも会場はアミューあつぎ9階ホール112。☎当日直接会場へ。☎商業にぎわい課☎225-2840。

斎場施設見学会

2月20日、①10時30分～②13時30分。市斎場(下古沢548)。施設の見学と葬儀の説明。現地集合。各回定員50人。無料。☎2月1日～15日に斎場☎281-8595へ。先着順。

エコ・アップ・あつぎ「ソーラークッカー体験」

3月7日、14時～15時30分。あつぎサンパーク(バスセンター2階)。ソーラークッカーを製作し、太陽熱エネルギーでゆで卵を作る。市内在住在勤在学で小学生以上の方20組。無料。☎電話またはファクスに

〒住所、参加者全員の氏名、年齢、人数、電話番号を書き、2月1日から環境政策課☎225-2749・☎223-1668へ。先着順。☎141711

環境市民学習講座「地球温暖化防止～ライフスタイルを見直そう!～」

3月7日、14時～15時30分。総合福祉センター。身近な商品や毎日の食事など、生活の中でできる地球温暖化防止対策を紹介。市内在住在勤在学の方24人。無料。参加者全員にマイ箸プレゼント。☎電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、電話番号を書き、2月23日までに環境政策課☎225-2749・☎223-1668へ。抽選。☎141710

日本赤十字社の講習

☎災害時高齢者生活支援講習
3月8日、13時30分～16時30分。災害時の高齢者の支援方法などを学ぶ。15歳以上の方30人。無料。☎141664

☎健康生活支援講習

3月14・15日、9時～17時。高齢者の健康な生活を支援するための知識や介護方法などを学ぶ(検定

スマホで見る広報紙



「広報あつぎ」をスマートフォンから閲覧できるサービスを始めます。最新号の発行もいち早くお知らせします。ぜひご利用ください。



《閲覧方法》

スマートフォンで、アプリケーション「i広報紙」をダウンロード(無料)し、厚木市を登録。

☎広報課☎225-2040

まつりの主役になろう 4月18・19日 厚木中央公園

第41回 厚木市緑のまつり

自然との触れ合いなどを表現した写真のほか、ステージでパフォーマンスを披露する団体、緑化や環境活動をPRする出展者を募集します。☎公園緑地課☎225-2412

●フォトコンテスト作品

部門 自然風景部門、人物風景部門
賞 グランプリ(各部門1人。賞状、盾、商品券1万円分)
優秀賞(各部門2人。賞状、盾、商品券5千円分)
入賞(各部門3人。賞状)

対象 ①応募者が市内在住在勤在学②平成26年4月1日以降に市内の公園・緑地などで撮影③未発表④デジタル加工していない⑤肖像権などを解決している一の全てを満たす作品
規格 八つ切り以上にプリント

☎公園緑地課、公民館にある応募用紙(市ホームページからダウンロード可)を作品の裏面に天地同じ方向で貼り、直接または郵送で3月13日(必着)までに〒243-8511公園緑地課へ。各部門1人1点まで。



●「花と緑のステージ」出場団体

演目 コーラス、ダンス、演奏など
出演時間 1団体10分以内
☎公園緑地課または公民館にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、3月13日(必着)までに直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511公園緑地課☎225-3027・e-mail=4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

●出展者

出展料 無料
対象 市内にある企業や学校など
☎2月20日までに公園緑地課へ。抽選。

厚木市長選挙

2月8日告示

投票日時 2月15日(日) 7時～20時

投票できる方は、平成7年2月16日までに生まれ、選挙人名簿に登録されている方です。投票の可否は次の通りです。当日の投票は指定された投票所をお願いします。

区分	投票の可否
市外から転入	平成26年11月7日までに転入手続きをした方 可
市内で転居	平成27年1月24日までに転居手続きをした方 可 (新住所地で)
	平成27年1月25日以降に転居手続きをした方 可 (旧住所地で)
市外へ転出	平成27年2月15日までに市外に転出した方 否 ただし、2月9日～15日に転出する方は投票できる場合があります。

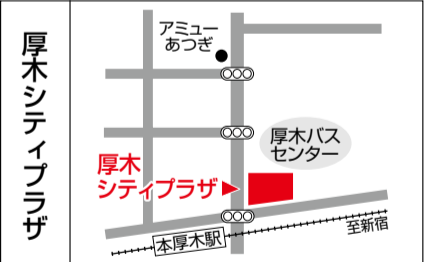
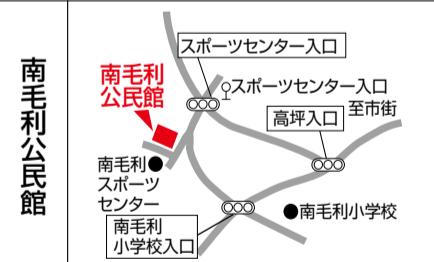
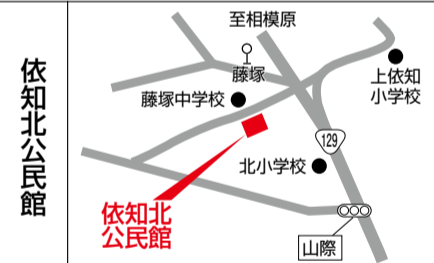
投票所

入場整理券に記載します。市ホームページでも確認できます。

期日前投票

投票日に用事などで投票所に行けない方は、期日前投票ができます。投票所は次の通りです。

期日前投票所	
期間	2月9日(月)～14日(土)
場所・時間	市役所本庁舎 8時30分～20時 依知北公民館 荻野運動公園体育館 } 9時～20時 南毛利公民館 厚木シティプラザ



投票所入場整理券

入場整理券は、2月7日(土)ごろまでに世帯主に郵送します。封筒に世帯員分(最多6人)が入っていますので、各自氏名を確認の上、投票所へお持ちください。期日前投票をする方は、事前に入場整理券の裏面の期日前投票用請求書(兼宣誓書)に必要事項を書き、期日前投票所にお持ちください。万一届かない場合や紛失した場合でも、投票所で係員に申し出れば投票できます。

選挙公報

2月11日(水)ごろの新聞(朝日・神奈川・産経・東京・日経・毎日・読売の各朝刊)に折り込んで配布するほか、2月12日(木)ごろから公民館などの公共施設、駅構内、郵便局、農協支所などで配布します。市ホームページには2月11日(水)ごろに掲載します。

不在者投票

選挙の当日、仕事や旅行で市外に滞在中、病気や出産などで入院中などの場合は、次の方法で不在者投票ができます。

- ①市外滞在中の方
本人が、滞在地から厚木市選挙管理委員会へ投票用紙を請求し、交付を受けてから滞在地の選挙管理委員会で投票してください。
- ②指定病院などに入院(入所)中の方
県選挙管理委員会が指定した病院などに入院(入所)中の方は、病院などで投票できます。詳しくは、指定病院などでお尋ねください。

郵便による不在者投票

身体に重度障がいがある方で次の表に該当し、事前に郵便投票証明書の交付を受けている方は、自宅などで投票できます。2月11日(水)までに、郵便投票証明書を添えて厚木市選挙管理委員会に投票用紙を請求してください。郵送で投票用紙が届いたら、必ず自分で候補者名を書き、〒243-8511厚木市選挙管理委員会宛てに郵送してください。詳しくはお問い合わせください。

障がい等の区分	障がい等の程度	
身体障害者手帳	両下肢・体幹・移動機能	1級または2級
	心臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸	1級または3級
	免疫・肝臓	1級～3級
介護保険の被保険者証	要介護状態区分	要介護5

開票 日時 2月15日(日) 20時50分～
 会場 荻野運動公園体育館 サブアリーナ
 投・開票速報は市ホームページで閲覧できます。

厚木市選挙管理委員会 ☎225-2490

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。